

プロジェクト：

北京科技大学・体育館

(北京オリンピック：柔道・テコンドー会場)

建築タイプ：体育館／スポーツ施設



世界初の「グリーンオリンピック」というテーマで開催された大会のため、建築家は本施設のために厳しい建築基準に挑戦することになりました。

目的

選手と観客の両方のニーズをみたした競技施設を造るためのバランスをとる必要がありました。実際、体育館は人工エネルギー照明の必要性を減少させるために重要な設計目標になりました。しかしながら天窓がその条件を満たさないことはハッキリしていました。

使われた製品

ソーラマスター 750DS オプティビュー
オープンタイプ ディマー付 148台

ソリューション

体育館の鉄鋼フレーム屋根は設計課題を提示しました。多数の障害に加えて、8m超の高さ。Solatube750DSはそれらの課題の両方をクリアしました。

1. 8m超の高さから十分な明るさを確保しました。
2. 新設計の採光システムは明るさとともに均等な光の拡散を成し遂げました。

総体として採光照明システムは、見た目、機能、環境に対する配慮の面で大きな成果を得ることが出来ました。

評価

一般の照明装置と比べて、ソーラチューブ採光システムは、より斬新な視点で、ユニークなメリットと幅広い用途、分野があります。ソーラチューブ採光システムは既存エネルギーの使用を抑えて、我々の環境デザインの目標を超えていました。

Weimin Zhuang 建築家

Dean 精華大学建築設計建築所

